

令和8年度 第2回
全国健康保険協会岐阜支部評議会

- ・ 中期戦略プラン（案）の報告
 - ・ 支部戦略プラン（健康づくり戦略）の意見聴取
 - ・ 令和9年度の事業方針に関する意見聴取
-



令和8年10月22日
全国健康保協会岐阜支部

中期戦略プラン（案）の報告

保険者機能強化アクションプランから中期戦略プランへ

- 保険者機能強化アクションプラン（第1期～第6期）を通じて、財政基盤の当面の安定化が実現し、保険者機能の強化・発揮の実践による知見が蓄積される中、新たに健康保険法改正においてきめ細かい予防・健康づくりが責務として明確化されたことを踏まえ、これまでの取組をさらに深化・発展させ、「健康日本21（第三次）」が目指す健康寿命の延伸に向けた取組を進める必要がある。
- 今後、協会が2040（令和22）年を見通し、より実効性の高い取組を展開できるよう、保険者機能強化アクションプランは、2040（令和22）年を見通して重点的に実施する取組を戦略的に進めていく計画であることを明確にするため中期戦略プランへと発展させる。
- 中期戦略プランは、3年（2027（令和9）年度～2029（令和11）年度）を計画期間とし、中期戦略プランの改定を通じて、その時点の社会経済情勢にふさわしい取組を実施する。

2008(平成20)年度～2017(平成29)年度

保険者機能強化 アクションプラン (第1期～第3期)

- ✓ 新たな保険者を「創建」
- ✓ 組織・財政基盤の整備による活動基盤強化

2018(平成30)年度～2026(令和8)年度

保険者機能強化 アクションプラン (第4期～第6期)

- ✓ 創成期から成長期へ
- ✓ 保険者機能の強化・発揮

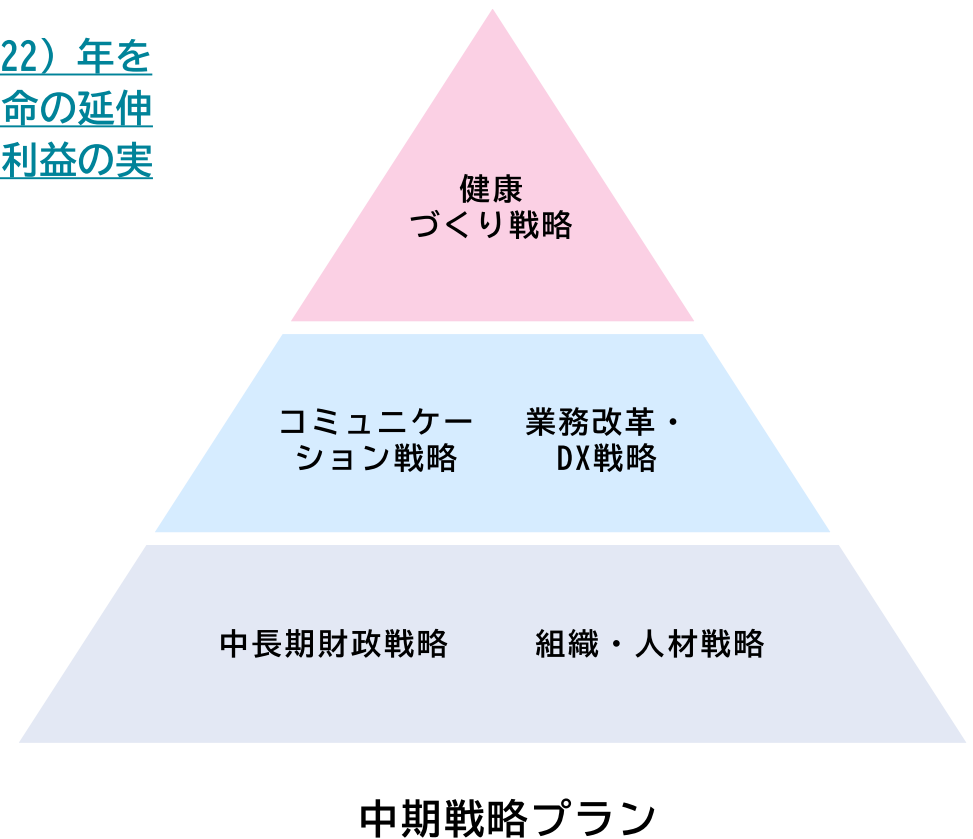
2027(令和9)年度～2029(令和11)年度

保険者機能強化 アクションプランから 中期戦略プランへ

- ✓ 健康日本21（第三次）が目指す健康寿命の延伸の実現
- ✓ 社会環境の変化への柔軟な対応

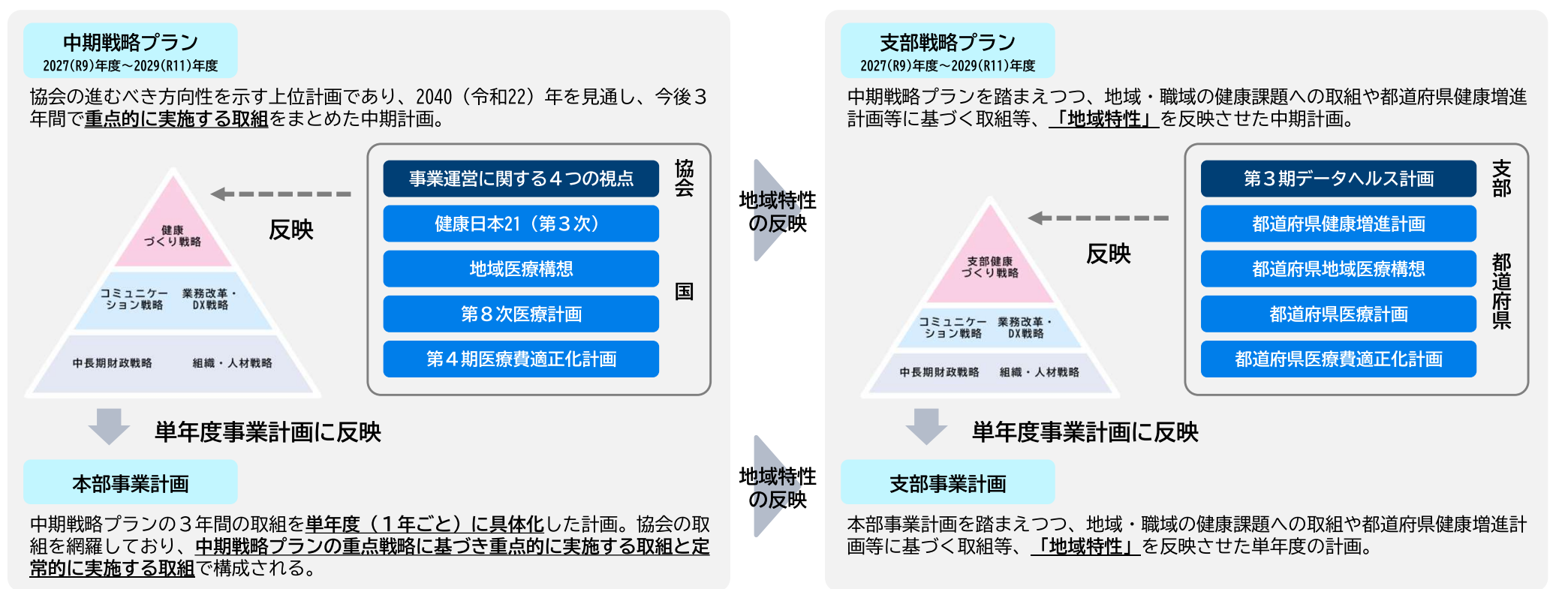
中期戦略プランの基本方針

- 中期戦略プランの策定にあたり、協会の全職員において今後の協会のあり方を議論し、事業運営に関する以下の4つの視点を整理。
 - ① ネットワークと標準化
 - ② サービスを個別化
 - ③ 仕事は考えるもの
 - ④ リレーションの資産化
- 協会は、これらの視点を事業運営に取り入れ、2040（令和22）年を見通した上で安定かつ持続可能な財政運営を維持し、健康寿命の延伸に取り組むことにより、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図る。
- 中期戦略プランは、健康寿命の延伸に取り組むことを明確にするため、健康づくり戦略を基軸とする計画とする。加えて、健康づくり戦略を実現するためには、様々な分野、様々な関係者との連携・協働が不可欠であること、また、不断の業務改革やデジタル技術の活用が重要であること等を踏まえ、健康づくり戦略を支えるコミュニケーション戦略、業務改革・DX戦略を定めるとともに、これらの戦略の基盤となる中長期財政戦略、組織・人材戦略を定める。



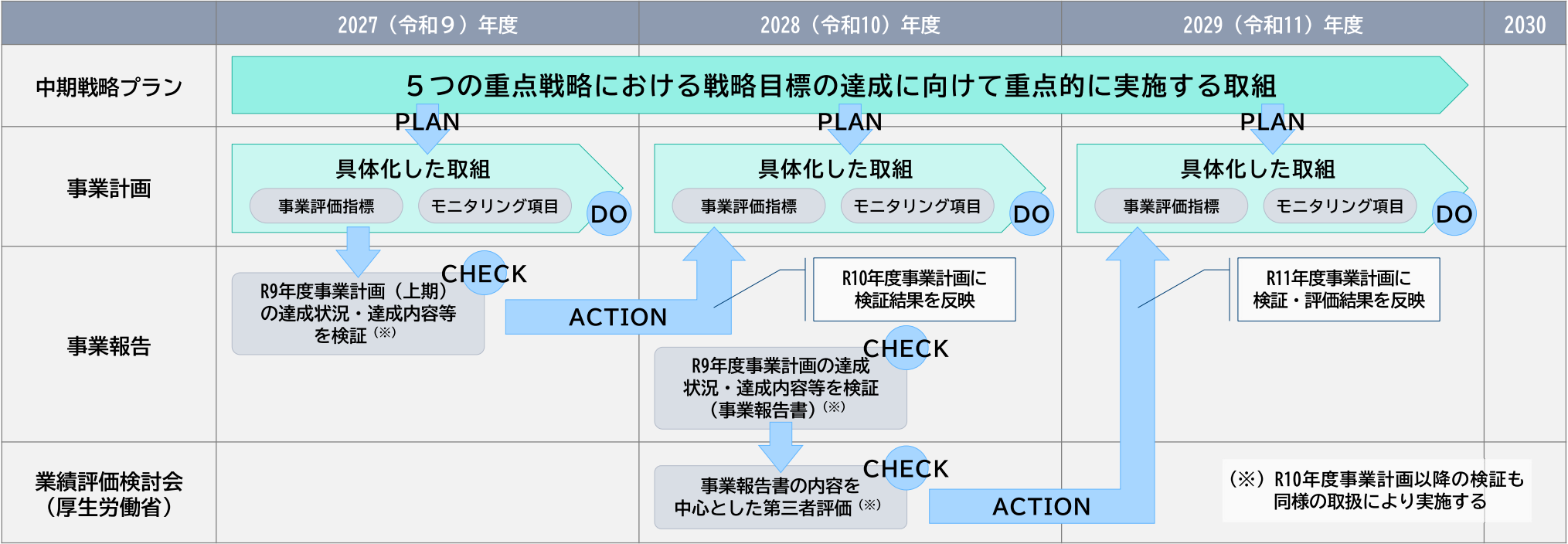
中期戦略プラン・支部戦略プラン・事業計画の関係

- 中期戦略プランでは、5つの重点戦略に基づき、協会が重点的に実施する取組について、2040（令和22）年を見通した「戦略目標」、「3年間の戦略の概要」及び「3年間の主な取組」を定める。また、重点戦略は、毎年度の事業計画において具体的な取組の検討、実施につなげる。その際には、SDGs（持続可能な開発目標）や国際化等、幅広い視点を持って取り組む。
（※）事業計画は、中期戦略プランの重点戦略で章立てを行い、「中期戦略プランの重点戦略に基づき重点的に実施する取組」及び「定常的に実施する取組（毎年度着実な実施が求められる取組）」を定める。
- 中期戦略プランに掲げる取組が、地域の実情等を踏まえた実効性のあるものとして全国に展開できるよう、支部は支部における健康づくり戦略を基軸とする支部戦略プランを策定する。



事業計画のフォローアップを通じた中期戦略プランの実効性の確保

- 事業計画において中期戦略プランの重点戦略を具体化した取組には、「「戦略目標」の達成に向けた取組の拡大・推進（①）」と「社会環境の変化に柔軟に対応した取組の推敲・継続（②）」が求められる。
- このため、事業計画には「当年度の取組の達成状況や達成内容、成果を適正に評価するための事業評価指標（①）」と、「計画期間中の進捗や課題を継続的に把握し、取組の見直しの判断を柔軟に行うためのモニタリング項目（②）」を定める。
- また、具体化した取組は、毎年度の事業報告において達成状況や達成内容、成果を検証し、運営委員会の議論を通じて「戦略目標」の達成に向けて柔軟に見直しを図る。
- 協会は、上記を通じて様々な視点から取組の推進・推敲を図り、中期戦略プランの実効性を確保する。



支部戦略プラン（健康づくり戦略）の 意見聴取

1. 岐阜支部 課題

	課題
1	循環器系疾患にかかる医療費が増加しており、血圧リスク該当者割合も高い。
2	睡眠や運動の生活習慣に改善が必要な者の割合が高い。
3	道路貨物運送業は全業態と比較して、生活習慣病リスクの保有率が最も高い。
4	
5	

2. 岐阜支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

岐阜支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

保健事業の推進により、「攻めの予防医療」に取り組むことで加入者の健康保持増進を図るとともに、良質かつ効率的な医療を享受できる取り組みを進め、健康寿命の延伸を推進します。

II) 戦略概要

保健事業の基盤となる健診、特定保健指導、重症化予防の取り組みを着実に進めるとともに、医療や健診・給付等のデータ分析を活用し、地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチを積極的に展開します。また、関係団体との連携を強化し、地域・職域が一体となった健康づくりを推進します。

加えて、けんぽアプリやコミュニケーションサイトを活用して加入者と直接つながり、一人ひとりの状況に応じた「PUSH型」の支援を行います。あわせて、健康経営を通じて事業主との連携を強化し、加入者への働きかけを充実させることで、健康づくりを総合的に推進します。

2. 岐阜支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

〔個人の特性に応じた支援〕

生活習慣病リスクの保有率が最も高い業態区分である道路貨物運送業を対象に、関係団体（運輸局、トラック協会等）と連携し、従業員の健康づくりに関する情報提供や支援を行います。また、支部の健康課題である循環器系疾患の予防に向けて、広報誌、メールマガジン、LINE 等を活用した情報発信を行い、生活習慣の改善や健康づくりに向けた意識の向上を図ります。

〔健康経営の推進〕

健康づくりのキーパーソンとなる事業主への働きかけを強化し、事業所が健康経営を実践するための取組を支援します。また、多くの事業所が主体的に従業員等の健康づくりに取り組めるよう、健康情報の発信や健康講座・セミナー等を通じた効果的な支援を実施します。

〔健診の拡充〕

健診機関への働きかけを行い、人間ドック健診等の実施機関を拡大することで、受診機会のさらなる拡充を図ります。被扶養者の特定健診受診率が低い西濃地域では、受診者が多く見込める会場を選定し、集団健診を実施します。

また、未受診者への受診勧奨について、行動変容につながる効果的な内容となるよう工夫し、健診受診率の向上を図ります。

2. 岐阜支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[特定保健指導の量・質の向上]

生活習慣病リスクの保有率や、特定保健指導対象者の割合が高い道路貨物運送業の事業所に対し、関係団体（運輸局、トラック協会等）と連携した特定保健指導の推進を図るとともに、ICT面談や健診機関と連携した健診当日の特定保健指導利用機会の拡大を進めることにより、実施率向上を図ります。また、保健指導実施機関と協会けんぽの保健師等による定期的な勉強会及び意見交換会を実施することにより、保健指導の質の向上に努めます。

[重症化予防の拡充]

循環器系疾患に係る医療費が年々増加しているため、重症化予防の取り組みとして、健診機関に働きかけ、健診直後に電話や文書による受診勧奨を実施します。また、県や関係団体とも連携した受診勧奨文書を作成するなど、地域・職域が一体となった効果的な働きかけを行うことで、医療機関への早期受診につなげます。

[ヘルスリテラシーの向上]

メンタルヘルスに課題を抱える事業所を対象に、産業保健総合支援センターと連携したセミナーを実施します。また、女性の健康課題をテーマとした健康講座や広報等を行います。

さらに、学齢期から健康に関する正しい知識を身につけられるよう、市町村等の関係団体と連携し、学校の授業における健康教育や新聞・広報誌等を活用した情報発信を行います。

2. 岐阜支部 健康づくり戦略（案）

Ⅲ）３年間の主な取組

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

地域医療構想調整会議や医療審議会等に積極的に参画し、地域の現状や課題を把握するとともに、持続可能な医療保険制度の構築に向けた意見を発信するなど、保険者に期待される役割を果たします。

[医療費の適正化]

バイオ後続品（バイオシミラー）の使用促進に向けて、データ分析に基づく医療機関への働きかけを行います。また、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域における取組状況等の情報提供を行い、地域の医療関係者との連携を図ります。さらに、OTC類似薬の薬剤自己負担の見直しを踏まえ、セルフメディケーションを推進するため、広報紙やLINE等を活用した情報発信を行います。

令和 9 年度の事業方針に関する意見聴取

●課題1 循環器系疾患にかかる医療費が増加しており、血圧リスク該当者割合も高い

令和8年度 主な取り組み

- ・減塩レシピ動画を制作してLINEで発信。
- ・県内高校で、高校生による減塩レシピの調理を実践。
(調理の様子などが岐阜新聞「高校ダイアリー」に記事掲載)
- ・健康保険委員向けに循環器病予防セミナーを実施。
(参加者：現地 31名、Web 60名)
- ・事業所向け未治療者受診勧奨ポスターを関係団体（岐阜県、岐阜労働局）と連携して作成。



令和9年度の事業の方向性

- ・減塩レシピ動画を継続してLINEで発信。youtube等の広報媒体を活用して広く展開。
- ・県や循環器協会等の関係団体へ働きかけて連携を図る。
- ・岐阜支部HPの健康情報を更新して、循環器病予防に関する記事も追加。
- ・健康経営を始める事業所向けに、健康機器等の健康づくりセット貸出を実施。
- ・未治療者に対する健診機関からの電話や文書による受診勧奨を拡大。



●課題2 睡眠や運動の生活習慣に改善が必要な者の割合が高い

令和8年度 主な取り組み

- 健康宣言事業所向け、健康講座を実施。
(訪問、オンラインあわせて80回)
- 産業保健総合支援センター、岐阜県商工会議所連合会、岐阜県中小企業団体中央会と、4者共催によるメンタルヘルスセミナーを実施。
- 健康づくりDVDの貸出を実施。



令和9年度の事業の方向性

- 健康講座を引き続き実施するとともに、講座を利用しやすい環境づくりも図る。
- 睡眠に着目したメンタルヘルスセミナーの実施。
- 女性のメンタル不調対策として、ライフステージにあわせた広報や情報提供を実施。
また、自治体等関係団体へ働きかけて連携を図る。
- 引き続き、健康づくりDVDの貸出を実施。

●課題3 道路貨物運送業は全業態と比較して、生活習慣病リスクの保有率が最も高い

令和8年度 主な取り組み

- ・道路貨物運送業の大規模事業所に積極的に接触して情報交換を行い、連携を推進。
- ・運輸支局と連携して、トラック協会、バス・タクシー協会を通じて健康情報を発信。
- ・道路貨物運送業に対して効果的な事業を行うため、医療費や健診結果等を分析。

令和9年度の事業の方向性

- ・道路貨物運送業の大規模事業所と関係性を深めて、健康経営や特定保健指導の実施等を促す。
- ・引き続き運輸支局と連携して、健康情報の発信やセミナー等での出前講演を実施。
- ・道路貨物運送業や類似業態の事業所の健康経営好事例を発信。
- ・全日本トラック協会と本部が連携して作成する注意喚起啓発資材（血圧計活用のポイント）を配付。